

2022年度 J-POWERグループ環境行動指針（1/2）

項目	取組み細目	
気候変動問題への取組み	CO2フリー電源の開発加速化	既設水力、地熱、風力、バイオマス発電等における安定運転の維持 既設水力発電所の設備更新による効率向上 水力、地熱、風力、太陽光発電等の新規開発の推進 原子力規制委員会による新規制基準適合性審査への適切な対応 自主的に更なる安全性の向上に取組み、地域から信頼される原子力発電所の建設
	CO2排出量削減	高効率IGCC発電技術開発のため、大崎クールジェンプロジェクトを推進 CO2回収・利用・貯留（CCUS）技術開発の推進 既設火力発電所における高効率運転の維持 既設火力発電所等におけるバイオマス燃料混焼の推進 既設火力発電所設備改良・リプレース計画の推進 オフセット・クレジット・メカニズムの活用、推進
	CO2以外の温室効果ガス排出抑制	SF6、CFC、HCFC、HFC、N2OなどのCO2以外の温室効果ガス排出の抑制
	省エネルギーの推進	電力設備における所内率の低減 オフィスにおける省エネの推進 原材料等の輸送の効率化 公共交通機関の利用、エコドライブ実施による環境負荷低減

項目	取組み細目	
地域環境問題への取組み	循環型社会形成の推進	廃棄物の3Rの推進および適正な処理 廃プラスチックの分別の徹底と3Rの推進 最終処分場の適正な維持管理と廃止手続きの実施 グリーン調達の維持継続
	生物多様性の保全	事業の各段階における自然環境の保全と持続可能な利用 希少動植物及び生息、生育地の保全 生物多様性に対する意識の向上
	森林の保全と持続可能な経営の推進	社有林の保全 森林内の未利用残材の利用の推進
	水環境の保全	水資源の適切な利用と水質保全 河川における堆砂対策や濁水長期化軽減対策などの推進 環境保全協定等に基づく排水水の適正な管理 排水処理設備の適切な管理による水質汚濁物質の排出抑制 機器等からの油の漏洩防止対策の強化
	大気汚染物質の排出抑制	NOx、SOx、ばいじん等の排出抑制のため、燃焼管理及び環境対策設備の適切な管理
	騒音・振動・悪臭の発生抑制	騒音・振動・悪臭を発生する機器の適切な管理 化学物質の排出量・移動量の把握・管理・公表の確実な実施
	化学物質の適正管理	PCB廃棄物及びPCB使用製品の社内方針に基づいた適切な管理及び処理 アスベストの適切な管理と計画的な除去
	事業計画への環境配慮	事業活動における環境影響評価の実施 設備の新設・改造時の高効率な環境対策設備の設計検討及び導入
		環境対策技術の海外移転

2022年度 J-POWERグループ環境行動指針 (2/2)

項目		取組み細目
透明性・信頼性への取組み	環境マネジメントレベルの向上	J-POWERグループ各社におけるEMSの継続的改善
		EMSの合理化を推進
		社員の環境問題に対する意識向上
		取引業者に対する環境配慮の協力要請
		環境トラブルの未然防止及び緊急事態発生時の連絡徹底と適切な対応によるリスクマネジメントの強化
	環境法令・協定などの遵守徹底	法令・協定等の確実な特定、周知、運用
		環境法令教育等の実施と積極的な参加
		教育資料の活用と廃棄物処理における電子マニフェストの運用拡大
	環境コミュニケーション活動の推進	社外ガイドラインや社会的な要請に配慮した環境報告の実施
		信頼性・透明性を企図した環境報告の第三者審査の受審
		環境格付け・アンケートへの積極的な回答
		様々なステークホルダーとのコミュニケーション活動の実施と適切な対応
	広報活動または地域の環境保全活動の実施などによる社会貢献活動の実施	